

平成30年5月11日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構

「高速増殖原型炉もんじゅの研究開発の状況及び今後の廃止措置について」の
報告書について

本日、会計検査院から国会及び内閣に提出された報告書「高速増殖原型炉もんじゅの研究開発の状況及び今後の廃止措置について」は、もんじゅの研究開発の成果や費用、これまでの保守管理の状況や廃止措置に係る取組の状況に関する検査結果について取りまとめられたものと受け止めております。

当機構といたしましては、もんじゅに関し、今後とも、安全を最優先に、この報告書の所見を踏まえ、適切な保守管理によって廃止措置段階においても必要な機器の性能を維持し、予算の効率的な執行や成果の公開に努めつつ、廃止措置を着実に進めて参ります。

また、これまでも研究開発に要した経費を機構ホームページで公開する等、透明性をもって事業を進めてきており、廃止措置に係る費用についても、計画の具体化に応じて適時適切に見直し、公表して参ります。

以 上